

令和7年度 事業計画書

令和7年3月

公益財団法人 長崎県健康事業団

令和7年度 事業計画

当事業団は、公益目的事業の「疾病の予防及び健康の保持増進、救急医療の確保及び腎臓等臓器移植の推進」に関する事業を行い、県民の公衆衛生の向上に取り組んでいく。

このため、引き続き、県や市町・長崎大学・県医師会等関係機関のご指導とご協力を得ながら健康診断事業や各種検査を行うとともに、救急医療情報システム運営事業及び臓器移植対策事業を実施する。

しかしながら、健康診断事業については、県内の人口減少に加え、住民健診における集団健診から個別医療機関健診への移行や他の健診機関への委託変更により、健診受診者数が大きく減少し、令和6年度決算（見込）は昨年度に続き大幅な赤字見込みとなっており、当事業団の経営状況は極めて厳しい状況となっている。そのため、令和7年度は、これまで以上に収入増加対策及び支出の削減対策を行い安定的な経営を目標に、職員一丸となって取り組んで行く。

I 今年度の新たな取り組み

（１） 健診料金の改正

令和7年度健康診断料金について、最低賃金の引上げ等人件費のアップや健診に必要な機材・医薬材料費・燃料費等の高騰に伴い、約5%アップの改正を行う。

また、離島地区（対馬市、壱岐市、五島市、小値賀町、新上五島町）の住民健診料金については、宿泊費・渡航費を含めた基本料金（最低保証）を設定し赤字解消を図っていく。

（２） 健診収入増収対策

協会けんぽの被扶養者の特定健診及びがん検診について、令和6年度まで県外の健診機関が実施していた長崎市他7市町、約1,000人を実施する。

また、住民健診の受診者増を図るため市町との更なる連携強化を図るとともに、学校や事業所健診の新規受託のため営業活動を継続して実施する。

（３） Web予約システムの導入

長崎県の協力のもと、がん検診（特定健診等含む）Web予約システムを整備し、がん検診等の受けやすい環境づくりをおこない受診率向上につなげ、早期発見・早期治療を実現する。なお、令和7年度は、5市町（松浦市、西海市、南島原市、波佐見町、小値賀町）と契約し今年4月から稼働を予定している。

（４） 健診体制の見直し

健診実施に当たっては、標準スタッフ数の見直し、受診者数に応じた効率的な健診体制で取り組んでいく。

（５） 経営企画課の新設

健診事業等の現状把握、経営分析や経営改善を担当する組織として経営企画課を新設し、赤字脱却を図る。

（６） 事務事業のデジタル化システムの開発

健診現場システム効率化を図り経費削減に繋げるため、タブレット健診並びに健診基幹システムについて、令和7年度は機器選定を含めて具体的に着手する。

Ⅱ 継続する取り組み

（１） 健康診断の推進

広く不特定多数の県民の健康診断の受診機会の拡大が図られるよう、県・各市町や地元医師会等と連携しながら、特定健診、各種がん検診、結核検診、学校検診、職域健診、先天性代謝異常検査などの健診・検査を実施し、疾病の予防対策や病気の早期発見等に寄与していくとともに、健診データの調査分析及び研究を行い、地域性や時代特性を踏まえた情報発信及び啓発活動を行う。

① 受診率の向上対策

国が掲げる特定健診受診率70%以上、保健指導受診率45%以上並びにすべてのがん検診受診率60%以上の目標達成に向けて、市町と連携して、効率的な個別の受診勧奨・再勧奨事業などへの協力を行う。

② 低線量CTがん検診車の活用

低線量肺がんCT検診が今後対策型検診として導入されることが検討されている中、健診体制など対応できるよう準備を進めていく。

③ 新生児オプショナルスクリーニング検査の実施

令和4年7月から開始した新生児オプショナルスクリーニング検査（ライソゾーム病、重症複合免疫不全症、脊髄性筋萎縮症）について、長崎大学や県医師会並びに長崎県等と連携し早期発見・早期治療のより一層の充実を図る。

また、令和7年1月から、国（こども家庭庁）が実施する「新生児マススクリーニング検査に関する実証事業」に長崎県が参加しており、令和7年度も引き続き協力を行う。

（2）精度管理の充実と健診サービスの向上

質の高い健康診断事業や各種検査を行うために、下記の項目を実施する。

① がん検診事業評価及びがん検診精度管理事業等

長崎県より委託を受けた「がん検診事業評価及びがん検診精度管理事業」により、県内市町のがん検診実施機関について、国立がん研究センター「事業評価のためのチェックリスト」を用いて調査・集計を行う。また、がん検診の各種データを整理・分析して各指標を作成するとともに、全国との比較分析を行い、県のホームページにリンクして広く公表する。また、令和7年度も引き続きがん検診精度管理医師等研修会を実施する。

② 精度管理の充実

精度管理については、令和6年2月に5度目の認定更新を受けた「労働衛生サービス機能評価機構の優良認定施設」として、引き続き、各種研修会に技術職員等を計画的に参加させ、最新の健診・検査技術、人材の育成、機器の管理、システムの充実を行い、安全で信頼できる質の高い健診サービスの提供・充実に努める。

③ がん検診精密検査受診率向上対策

当事業団で実施した「がん検診」の要精密検査者について、医療機関での精密検査受診状況を確認するとともに、未受診者に対し受診勧奨を実施する。

④ 結果処理の短縮

受診者サービスの向上のため、がん検診における「事業評価のためのチェックリスト（検診機関用）」に掲げる「受診者への結果の通知・説明、市区町村への結果報告」のとおり、胸部・胃がん・子宮頸がん・乳がんについては、原則、検診受診後4週間以内、大腸がんは2週間以内の返送を行う。

（３）救急医療対策の実施

「救急医療情報システム」の管理運営を行うとともに、救急搬送患者の状況を解析するため、救急搬送事後検証票のデータ入力・集計を行い救急医療従事者の教育に貢献する。

（４）臓器移植対策の実施

公益社団法人日本臓器移植ネットワーク及び協力医療機関等と連携して、臓器提供について協力依頼を行うとともに、出前講座・街頭キャンペーン・臓器提供意思表示カードの配布等による啓発活動を行う。また、臓器移植希望者の負担軽減を図るため、腎臓・肺臓・肝臓・膵臓の移植希望者に対して、日本臓器移植ネットワークに支払う新規登録料3万円の一部として2万円の助成を行う。

（５）普及啓発事業

① 結核・呼吸器感染症予防活動

結核・呼吸器感染症に関する正しい知識の普及を図るため、次の活動を行う。

○ 結核・呼吸器感染症予防週間（９月２４日～９月３０日）

結核・呼吸器感染症予防週間の推進のため、周知ポスターやパンフレット・の配布、パネル等の資材貸出しなどを行う。

○ 複十字シール運動（８月１日～１２月３１日）

結核の制圧を目指す「複十字シール運動」については、その開始にあたって長崎県結核予防婦人会とともに長崎県知事を表敬訪問し、結核の周知啓発や予防対策の推進について協力依頼を行う。

② がん征圧活動

がんに関する正しい知識の普及を図るため、次の活動を行う。

○ がん征圧月間（９月１日～９月３０日）

がん予防の推進のため、パンフレット・ポスターの配布、パネル等の資材貸出しなどを行う。また、ピンクリボン活動（乳がん予防啓発活動）への協力を積極的に行う。

○ リレー・フォー・ライフ・ジャパン

がん患者の支援を目的とした「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」の開催にあたり支援・協力を行う。

○ 子宮頸がん啓発活動

子宮頸がん啓発企画「2025 LOVE 49プロジェクト」のキャンペーンの長崎市での開催にあたり支援・協力を行う。

③ 検診車及びホームページを活用した情報発信

県民の「特定健診」や「がん検診」の受診率アップ対策として、「がん総合デジタル検診車」や「CT検診車」並びに「乳がん検診車」などの車体メッセージを移動媒体として活用し、受診率向上の啓発に努める。

また、ホームページにおいて、当事業団の事業活動及び健康に関する最新の情報を更新し県民の皆様へ提供する。

（６）職員の意識改革及び人材育成

（公財）結核予防会、（公財）日本対がん協会、（公財）予防医学事業中央会、（公社）全国労働衛生団体連合会が開催する研修会に参加して精度の高い健診・検査を提供できるよう努める。

（７）その他

① 個人情報保護対策

健診機関として重要な個人情報の保護については、令和7年2月に「プライバシーマーク」の8度目の更新を受けた。引き続き、適切な管理体制の下、職員への個人情報保護の教育・研修会等を開催し、個人情報の適正な取得・利用・管理を行う。

② 接遇向上の推進

より質の高い健診を提供し受診者から選ばれる健診機関を目指して、令和7年度も引き続き、接遇・マナー対応の向上を図ることを目的に外部講師を招いて研修会を開催する。

(8)「健診・検査年間計画」は、次のとおりである。

《健診・検査年間計画》

(単位：人)

健診・検査項目	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績見込(a)	令和7年度	
					見込(b)	増減(b-a)
一般検診	290,829	298,566	281,014	273,970	260,030	△ 13,940
特定健康診査	31,400	34,394	34,110	24,690	25,660	970
事業所健診	95,758	96,680	87,960	88,300	81,100	△ 7,200
メンタルヘルス	4,906	6,331	5,223	6,080	6,100	20
結核健康診断	116,589	118,712	112,870	116,530	108,870	△ 7,660
原爆健診（一般）	2,092	1,791	1,397	630	600	△ 30
学童健診	40,084	40,658	39,454	37,740	37,700	△ 40
胃がん検診	21,222	20,826	19,659	18,790	18,630	△ 160
子宮がん検診	13,721	13,820	14,536	12,700	12,310	△ 390
乳がん検診	15,688	15,554	17,056	14,550	14,290	△ 260
肺がん検診	27,460	28,187	27,415	25,460	25,000	△ 460
大腸がん検診	40,636	42,521	43,145	39,500	39,350	△ 150
骨粗鬆症予防健診	1,635	2,064	2,364	2,270	2,270	0
腹部超音波検査	4,600	5,606	5,876	3,760	3,760	0
CT検診	83	0	66	70	100	30
健診小計	415,874	427,144	411,131	391,070	375,740	△ 15,330
前年比	-	102.7%	96.3%	95.1%	96.1%	-
先天性代謝異常検査	9,489	9,002	8,017	7,960	7,860	△ 100
検体受託検査	835	807	811	820	820	0
検査小計	10,324	9,809	8,828	8,780	8,680	△ 100
総合計	426,198	436,953	419,959	399,850	384,420	△ 15,430

資金調達及び設備投資の見込について

（１）資金調達の見込について

▼長期借入金

当期中に資金調達の予定はありません。

（２）設備投資の見込について

▼当期中の重要な設備投資

設備投資の内容	予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途
胸部検診車（更新）	78,100 千円	補助金（宝くじ） 78,100千円
胃・胸部X線装置（更新）	65,890 千円	補助金（JKA） 42,000千円 自己資金 23,890千円
スタッフ等送迎用車両2台 （更新）	8,000 千円	自己資金 8,000千円
建物外壁工事及び 地下駐車場照明器具増設工事	2,459 千円	自己資金 2,459千円
Web予約システム （小値賀町）	800 千円	自己資金 800千円
健診機器等更新	20,000 千円	自己資金 20,000千円
計	175,249 千円	補助金 120,100千円 自己資金 55,149千円